

産地パワーアップ事業の取組事例

(群馬県)

取組の概要

計画作成主体：富岡市地域農業再生協議会
対象品目：ペゴニア（産地面積0.7ha）
主な取組主体：農業者
成果目標：販売額の14.8%以上の増加
基準（H28年度）6千1百万円
目標（H31年度）7千万円
導入施設等：整備事業（高度環境制御栽培施設）



ポイント

【取組の主題(テーマ)または課題】

国内需要の高いペゴニアの産地形成を実現をするには、生産量拡大や販売力の強化が必要である。高度環境制御栽培施設を増設することにより、生産量の増加と安定した収益確保を図り、販売額の増加を目指す。



【産地の体質強化に向けた方策】

生産量の増加と安定した収益確保のため、高度環境制御栽培施設を増設

推進体制

- 群馬県農政部
- 西部農業事務所
- 富岡市
- 甘楽富岡農協

富岡市地域農業再生協議会

- ①計画の策定・管理
- ②取組計画への助言

指導・助言

情報共有

- 協議会と取組主体との情報共有(取組状況等)
- 行政機関(県、町)及び農協によるサポート体制

取組主体

- ①取組計画の作成
- ②取組実施等

期待される事業効果

【事業実施による直接効果】

- ①栽培施設の増設による生産量の増加
- ②高度環境制御設備の導入による安定した収益確保



販売額が増加

～ペゴニアの販売額～

